

串良 KUSHIRA
新鹿屋市で、
より一層の交流を！



6月12日、新鹿屋市の誕生を祝い「全羅北道鹿児島クラブ」のメンバー6人が鹿屋市役所を表敬訪問しました。

同クラブは、韓国全州市の北一初等学校と串良地区の3小学校（串良小・細山田小・上小原小）との間で行われてきた相互親善交流を支援してきた団体。会長の林升夾（ム・スンネ）氏は「新鹿屋市の誕生を機に、より一層交流の輪を広げていきましょう」と話しました。

吾平 AIRA
『スイートコーン狩り』始まる



収穫は7月中旬に終了する予定です。

6月16日、吾平町上名の黒羽子観光農園でスイートコーン狩りが始まりました。

同農園のコーンは、実のつまりを良くするため、ひとつの茎に1本のコーンができるように育ててあり、甘くて皮が柔らかく、生のままでも食べられるのが特徴。約50アールの畑に、約16,000本が植えられており、毎年、多くの人々が収穫に訪れています。

当日行われた開園式には、近くの幼稚園児など約20人が訪れ、もぎ取ったコーンを早速試食。「甘くておいしい」と喜んでいました。

鹿屋 串良 吾平 輝北



優勝

鹿屋消防団操法大会
小型ポンプ操法の部 = 荒平分団
ポンプ自動車操法の部 = 野里分団



優勝

串良消防団操法大会
ポンプ自動車操法の部 = 細山田分団



優勝

吾平消防団操法大会
小型ポンプ操法の部 = 中央分団
ポンプ自動車操法の部 = 中央分団

3会場で鹿屋市消防団
操法大会を開催

6月11日・18日、鹿屋市消防団操法大会が市内3会場（11日：吾平会場、18日：鹿屋会場、串良会場）で開催されました。

大会は、鹿屋市消防団（47分団、967人）の消火技術の向上と、団員の士気とチームワークを養うため隔年で行われているものです。

鹿屋、串良、吾平の3会場で開催され、小型ポンプ操法の部に計14分団、ポンプ自動車操法の部に計33分団が出場し、日頃の練習の成果を競い合いました。各会場の審査結果は左記のとおり。

優勝チームは8月11日に開催される県消防協会肝属支部操法大会に出場します。なお、輝北消防団は、選抜チームにより出場するため、操法大会は開催しませんでした。

鹿屋 KANOYA
牛乳の消費拡大をPR



6月13日、鹿屋市役所で「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーンが行われました。

これは、飲料製品の多様化などにより牛乳の消費が低迷する中、父の日に牛乳を飲んでもらおうと行われている全国キャンペーンの一環として実施されたもの。大隅酪農青年女性会議のメンバーなどが訪れ、「焼酎の牛乳割りを試してみたいか」と、牛乳の消費拡大をPRしました。

鹿屋 KANOYA
ヒラメの稚魚
3,300匹を放流



6月16日、鹿屋港の沖合いに古江小学校3・4年生の児童12人がヒラメの稚魚約3,300匹を放流しました。

これは、鹿屋市漁業協同組合が、子供たちに放流を体験してもらい栽培漁業や資源増殖についての理解を深めてもらおうと行ったもの。子供たちは、体長8cm程のヒラメの稚魚に「早く大きく育ててね！」「元気に育ててね！」と声をかけながら放流していました。

鹿屋 KANOYA
日本チームに熱い声援！



サッカーのワールドカップで、日本対クロアチア戦が行われた6月18日、大浦町の空店舗で応援イベント（鹿屋市サッカー協会主催）が開催されました。

会場には、日本を応援しようとブルーの衣装に身をまとったサポーター約700人が集合。縦4m、横7mの大スクリーンに映し出される日本チームのプレーに熱い声援を送っていました。

鹿屋

2社と立地協定を締結

日本モレックス株式会社



6月29日、鹿屋市役所で神奈川県に本社を持つ日本モレックス株式会社と鹿屋市の立地協定調印式が行われました。

同社は、シカゴに本社を持つモレックス社の日本法人として昭和45年に設立された会社で、鹿児島工場は、電子・電気機械器具（コネクター）の製造工場として平成4年に鹿屋内陸工業団地で操業を開始。今回、国内外の需要増に対応するため、工場増設を決定しました。今回の工場増設は、雇用の創出、地域経済の活性化はもとより、鹿児島県の工業振興の発展に大きく貢献することが期待されています。

株式会社スリーベル



6月8日、鹿屋市役所で東京都に本社を持つ株式会社スリーベルと鹿屋市の立地協定の調印式が行われました。

同社は、電話回線やインターネットプロバイダの顧客獲得業務などを行う会社として平成12年に創業。今回、優秀な人材の雇用確保や、立地条件などから同社のコールセンター設置が決定しました。同センターは、市役所近くの電器店跡に設置され6月15日より操業を開始。当初は従業員20人で操業しますが、年内には120人以上の雇用を予定しており、地域経済の発展に大きく貢献することが期待されています。

鹿屋

思いこみや
意識のズレを紹介



6月25日、鹿屋市役所で男女共同参画公開講座が開催され、落語家の桂文也氏による「笑って・感じて・気付いて・変わる」と題した講演会や「目覚めのススメ」と題した落語が行われました。

会では、桂文也氏が、男と女の間にある間違っただけの思いこみや意識のズレを分かりやすく紹介。会場を訪れた約180人は笑いの渦に包まれながら、男女共同参画の認識を新たにしていました。

鹿屋

ばら園温室で
『ばらの切り花体験』
始まる



6月18日、かのやばら園の温室で『ばらの切り花体験』が始まりました。

これは、園内でばらを観賞するだけではなく、自宅でもばらの魅力を楽しんでもらおうと始められたもので、温室にある205種類、約7,000株のばらの中から、気に入ったばらを好きなだけ切り取ることができます。

1本につき150円～200円（入園料は、別途必要）で、休園日を除き1年中可能。かのやばら園オリジナルの箱も用意され、贈り物としても最適です。

【問い合わせ】

かのやばら園 0994-40-2170

鹿屋 串良 吾平 輝北
犯罪のない
明るい社会を築こう



高尾小学校で行われた講演会

7月3日、鹿屋市役所で、“社会を明るくする運動”のメッセージ伝達式が行われました。

同運動は、犯罪のない明るい社会を築こうという全国的な運動。当日は、保護司会鹿屋支部や鹿屋市更生保護女性会のメンバーが、運動への協力を求める法務大臣と県知事のメッセージを鹿屋市長に伝達したほか、運動の一環として中学校でのリーフレット配布や講演が行われました。

吾平

病気よりも
つらいのが差別です



6月30日、吾平保健センターで、「ハンセン病に関する啓発講演会」が開催されました。

講演会では、星塚敬愛園園長の有川勲氏が「ハンセン病は治療により完治する病気で遺伝病ではない」と医学的見地でハンセン病を紹介。また、同園自治会の上野正子氏が「本当につらいのは病気よりも差別。ハンセン病について、きちんと理解してほしい」と、自らの体験をもとに訴えました。

吾平

始良川を清掃



6月25日、始良川の河川敷で自分たちの川は自分たちで守り、ふるさとの川に親しみをもってもらおうと第19回始良川クリーン作戦（始良川河川愛護会主催）が行われました。

当日は、地域住民やスポーツ少年団、各種団体から約350人が参加。約1時間かけて堤防や川の中に捨てられた空き缶など、軽トラック1.5台分のごみを収集し、きれいにしました。